

災害時、被災者・支援者の移動をたすける「通れた道マップ」



▲トヨタの「通れた道マップ」

▼ホンダが公開した通行実績データ (Yahoo! 地図+インターネットナビ)

※いずれも2017.7.6. 15:00~16:00現在の画面



九州豪雨は7月10日05:30現在、死者21名、行方不明者20名超を出す大災害となりました。孤立した集落に250名が取り残されているとの報道もあります。当該地域の皆様のご無事と、一日も早い日常生活への復帰をお祈り申し上げます。

（2017年7月6日 インターネットコム）九州の豪雨で大きな影響が出るなか、トヨタ自動車は当該地域の「通れた道マップ」を公開した。直近1時間までクルマが走行してきた実績のある路線を確認できる。通行実績、交通規制情報のほか、Tプローブ交通情報（渋滞・混雑）を表示している。熊本地震などの以前の災害時にも、被災者や支援者の移動のために公開していた。7月5日に福岡県・大分県に特別警報の発表があったため、このほど表示エリアを変更している。鳥根県西部、長野県南部、熊本県熊本市付近を選択して表示することも可能。なお災害地域およびその周辺では、救助活

動、支援活動を妨げることのないように配慮し、実際の走行にあたっては必ず現地での規制、誘導に従ってほしいとのこと。また地図上では通行実績がある道路でも、その後の状況変化や交通規制などにより走れなくなっている場合がある。事前に警察や国土交通省、各国道事務所、道路会社などの道路管理者が提供する情報も確認した方がよいそう。本田技研工業（ホンダ）も、クルマが走れる道の参考として交通情報サービス「インターネットナビ」の通行実績データを一般公開。GoogleマップやYahoo!地図と連携して誰でも調べられるようにしている。（一部要約、抜粋は文責による）

（実は10年の歴史があります）

- 2006年ころ：防災科学技術研究所が、2004年に発生した新潟中越地震発生後の道路交通実態をホンダ・インターネットナビ、プレミアムクラブで収集したデータを元に実証する試みを行った。
- 2007年7月：防災推進機構とホンダが平成19年新潟中越沖地震発生後の通行実績のあった道路を7月19日から24日にかけて試験的にインターネット上に前日1日分の通行実績を翌日に更新する方式でpdfファイル形式による提供を行った。
- 2009年9月：ホンダはインクリメントP、ゼンリデータコムと共同で地震発生時の道路情報を共有する「災害時移動支援情報共有システム」を構築したことを発表した。これは震度5弱以上の地震発生時に自動的に通行実績情報をインターネットの地図情報サービスインクリメントP「MapFanWeb」、ゼンリデータコム「いつもNAVI」に表示するもの。
- 2011年3月12日：ホンダが「通行可能道路実績マップ」をGoogleEarthに対応したkmzファイル形式で提供を開始した。
- 2011年3月17日：トヨタ自動車がG-BOOK『通れた道マップ』の提供を開始した。
- 2011年3月25日：マビオンは東日本大震災被災地の「トラック通行実績マップ」を公開した。この地図は、いすゞ自動車が運営する高度運行情報システム「みまもりくん オンラインサービス」の通行実績情報を基に作成したもので、大型車両が通行可能な道路の確認に利用できるとしている。



2016年熊本地震の際に公開された「通れた道マップ」スマホ版→

「通れた道マップ」とおれたみちマップとは大規模地震などの災害発生に伴う通行可能道路を実際の車両走行実績データを元に地図上に示したものをいう。フローティングカーデータ（プローブカーデータ）を用いて、インターネット上の地図サービス上に自動的に描出するシステムが実用化されている。なお、「通れた道マップ」という名称は、2007年に発生した新潟中越沖地震の際に特定非営利活動法人防災推進機構とホンダが使用したもので、2011年の東日本大震災後、トヨタ自動車などがこの名称を使用したことから一般的になった。大規模災害発生後の通行可能ルートを、実際の自動車の通行実績データを元に多くの人が閲覧可能な状態で示すことにより、被災地での避難や救援のための移動を支援するための参考情報として利用可能である。(wikipedia)

we support!
RQ
災害教育センター

MONTHLY

「東北に黒龍を送ろうー大作戦しんぶん」改め復興支援『すけなきた』しんぶん

「すけなきた」とは宮城県登米市あたりの言葉で「ホランディアに来たよ」という意味である

JULY 11 2017



資料：インターネットコム、TOYOTA、HONDA、wikipedia、twitter、東京新聞TOKYO Web 2017.7.10朝刊